

教科	工 業	科目	工業情報数理	単位数	2 単位	学年	1 学年
学科	機械造船科	コース		教科書	工業情報数理（実教出版）		
副教材							
学習 目標	1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	第1章 産業社会と情報技術 1. コンピュータの構成と特徴	・コンピュータの基本構成について理解することができる。 ・ハードウェアとソフトウェアの関係について理解することができる。	◎		○	考 査 前 に プ レ ゼ ン 課 題 を 出 題 し、 そ の 内 容 及 び 発 表 内 容、 グ ル ー プ ワ ー ク 自 己 評 価、 振 り 返 り 等 に よ っ て 主 体 性 を 評 価 す る
	5 月	2. 情報化の進展と産業社会	・コンピュータとネットワークの発達が効率的なシステムの利用や環境保護に貢献していることが理解できる。	◎	○		
	6 月	3. 情報化社会の権利とモラル	・知的財産権など自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解でき		○	◎	
		4. 情報のセキュリティ管理	・情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解できる。	○	◎		
	7 月	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1. コンピュータの基本操作	・コンピュータの正しい利用手続き等の基本的な操作について理解できる。	◎		○	
2 学 期	8 月 9 月	2. ソフトウェアの基礎	・ソフトウェアの分類とOSの目的及び基本操作について理解できる。	◎		○	
		3. アプリケーションソフトウェア	・どのようなアプリケーションソフトウエアがあるか理解し、使用できる。	◎	○		
	10 月	第3章 プログラミングの基礎 1. プログラム言語	・プログラム言語の種類について理解できる。	○	○		
	11 月	2. プログラムのつくり方	・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの意味を理解できる。	◎		○	
		3. 流れ図とアルゴリズム	・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解できる。	○		○	
	12 月	第4章 BASICによるプログラミング 1. BASICの特徴	・BASICの特徴、簡単なプログラム作成について理解できる。	○		◎	
3 学 期	1 月	2. 四則計算のプログラム	・データの出力、データの入力、関数の計算について理解できる。	◎	○		
		3. 文字データの取り扱い	・文字データの取扱いについて理解できる。		○	◎	
		4. データの読取り	・プログラム中にデータを設定する方法を理解できる。	◎			
	2 月	5. 選択処理	・条件による選択処理について理解できる。	○	◎		
		6. 繰返し処理	・繰返し処理と書式について理解できる。	○	○		
		7. 配列処理	・配列の利用と書式について理解できる。	◎		○	
	3 月	8. 外部関数	・メインプログラム（主プログラム）と外部関数の関係について理解でき	○	◎		
		9. グラフィックス	・CGの基本的事項について理解できる。	○	◎		

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	定期考査に加え、考査前に出題する課題プレゼン及び発表内容（ルーブリックによる自己評価及び他者評価等）、小テスト、ワークショップの内容、振り返り評価等を用いて総合的に評価する。
------	---